



ふくしまオーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～



No.26-3

平成26年10月 8日

農業総合センター有機農業推進室

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4>

[/nougyou-centre/index.htm](http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm)

TEL(024)958-1711 FAX 958-1730

『ふくしまの有機交流バスツアー』が実施される！

農業総合センター有機農業推進室

9月13日(土)から14日(日)の2日間、『ふくしまの有機交流バスツアー』を実施しました。

このツアーは、関東地方の消費者などに、ふくしまの有機農業を知っていただくことを目的として、昨年からの実施しています。今回は31名の方々に参加いただきました。

13日は二本松市東和地区の農家において、ネギ畑の除草や枝豆、ミニトマトの収穫作業体験をしていただき、



枝豆を収穫しました



『有機交流バスツアー』に参加された皆さん

その後、「道の駅ふくしま東和」において、地元農家との交流会を行いました。参加した皆さんは、東和地区での有機栽培や復興の取組みについて関心をもって聞かれていました。

宿泊は、東和地区の7つの農家民宿に分かれて宿泊していただきました。それぞれの民宿で地元の農産物を使った手料理を食べながら、農家との話に花を咲かせました。

翌14日は、郡山市地方総合卸売市場において開催された

『ふくしまオーガニックフェスタ2014』に参加していただき、各ブースに分かれて農家と一緒に有機農産物のPR・販売を行いながら、交流を深めていただきました。

2日間盛り沢山の内容でしたが、参加者からは「農家の皆さんと沢山の交流ができて良かった」といった感想が聞かれました。参加した皆さんには、ふくしまの有機栽培の応援者になっていただければ幸いです。



交流会の様子



オーガニックフェスタでお手伝い

《お知らせ》

○ 有機農業者等商談会及び研修会

11月20日(木)～22日(土)の3日間、東京ビックサイト(東京都江東区)において、日本最大のオーガニックイベント『**オーガニックEXPO 2014**』が開催されます。

国内・海外から多くのオーガニック食料品や化粧品等が展示されます。

これに合わせて、会場内を視察する研修会と、商談を希望される農家とバイヤーの商談会を実施します。

福島から会場までのシャトルバス(無料)も運行しますので、みなさん是非御参加ください。

○ シャトルバス(無料)

11月20日(木)～22日(土)の**毎日運行**(毎日**20名**限定)

往路: 会津発(5:30)、農業総合センター発(6:30) ⇒ 会場着(10:30)

復路: 会場発(17:30) ⇒ 農業総合センター着(21:30)、会津着(22:30)

○ お問合せ・お申し込みは有機農業推進室まで(申込期限: **10月17日**)

電話: 024-958-1711

オーガニックフェスタが開催される！

農業総合センター有機農業推進室

去る9月14日(日)に、郡山市総合地方卸売市場水産棟において『ふくしまオーガニックフェスタ2014』が開催されました。今回は2回目の開催で、昨年と時期・場所を変更して実施されました。

この行事は、①環境保全と生態系を守る有機農業の価値や県内の有機農業生産者の取り組みを伝え、消費者の皆さんと顔の見える交流を図ること、②農業者の放射性物質低減の取り組みや測定検査を正しく伝えること、③有機農業を目指す生産者のネットワークを広げることを目的に行われました。

開催のために、「NPO法人福島県有機農業ネットワーク」が中心となり、多くの関係者が加わった実行委員会が事前に7回も実施され、万全の準備を図りました。

このフェスタには県内の有機農業生産者やグループが多数参加し、会場内の41ブースで有機栽培で生産した米や野菜、その加工品などの販売や、有機農産物を主原料とした飲食の販売を行いました。

また、会場内では昨年好評だったワークショップが、種類を増やして行われました。実施されたものは、野菜すくい・綿繰り・わらもじり・藍染め・ちまき作り・水辺の生き物調査・放射能〇×クイズなどで、子供も大人の方も楽しそうに体験されていました。

ステージでは、タレントのなすびさんとフリーアナウンサーの渡辺奈菜さんの司会で、10時に実行委員長の大内督さんのあいさつで開会し、生産者紹介やアーティストライブが行われ、午後には『震災後4年目、福島の今…農と暮らしの安心をつなぐ』と題したパネルディスカッションも行われました。最後に、全員で「ふるさと」を合唱して、16時にフェスタは終了しました。

入場者は約3000名で、バスツアーで来られた首都圏からの方々や秋田県・山形県などの県外からも多くの方々に参加していただきました。

会場の準備や後片付けなどには、実行委員ばかりではなく多くのボランティアの方々が加わっていただき、それによりスムーズな運営が行われました。



大内実行委員長の開会あいさつ



販売風景



「わらもじり」の様子

農業総合センターまつりで有機農産物を販売！

農業総合センター有機農業推進室 会津農林事務所農業振興普及部

第9回福島県農業総合センターまつりが、9月12日(金)、13日(土)の両日、郡山市の同センターで開催され、県内から4つの有機生産組織が出展しました。

12日は、二本松市から「オーガニックふくしま安達」、喜多方市から「喜多方ゆうきの和」、会津美里町から「会津自然塾」の3つの生産組織が出展しました。「喜多方ゆうきの和」は、多品目の新鮮野菜を、「会津自然塾」は野菜に加えて多くの農産加工品の販売を行いました。特に喜多方のミニトマトが人気で、翌日に評判を聞いて買いに来られた方もおりました。そのため、14日の『オーガニックフェスタ』をご案内しました。「オーガニックふくしま安達」も野菜の販売を行いました。特に珍しい野菜『白ナス』が人気でした。

13日は、二本松市から「二本松市有機農業研究会」のみの出展でした。トウモロコシとキュウリを求めて開店前からお客様が集まり、開店早々に売り切れました。その他の野菜も販売は順調でした。また、ニンジンジュースを多くのお客様が試飲し、好評につき購入されていきました。準備した農作物は完売していました。

会場には、有機農業を紹介するパネルを展示し、出展したグループの紹介パンフレットや有機農産物に関するパンフレットを配布し、各グループの取り組みや有機農産物の安全性をPRしました。対面販売により交流が図られ、有機農産物や生産組織の取り組みを知っていただく良い機会となりました。



「喜多方ゆうきの和」の販売風景



「オーガニックふくしま安達」の販売風景



「会津自然塾」の販売風景



会津方部有機農業研修会を開催！

会津農林事務所農業振興普及部

平成26年8月1日（金）、農業総合センター会津地域研究所研修室にて会津方部有機農業研修会を開催しました。当日は、有機農業に関わる農業者や関係者48名の出席となりました。

今回は『米の食味』をテーマに、株式会社山城屋代表 大須賀啓次氏、株式会社石井商店代表 石井淳一氏、有限会社あいづ松川専務 松川修一氏より「販売する立場から『米の食味』の位置づけや食味向上の意義、今後販売する上での助言」をいただきました。

また、昨年の「米・食味分析鑑定コンクール国際大会受賞者」会津若松市 長尾好章氏、西会津町 橋谷田淳氏、猪苗代町 土屋睦彦氏が「米の食味向上に向けた実践事例」を発表しました。

さらに、農業総合センター会津地域研究所 山内所長より「気象変動による高温対策について今後の栽培管理」について指導をいただきました。

研修の最後に、農業総合センター有機農業推進室 手代木室長を座長に「有機栽培米の食味向上」について総合討議を行い、生産者、流通販売業者それぞれ活発に意見交換がなされていました。

参加者が今後、米の食味向上に向け取り組む上で有意義な研修会となりました。



左から大須賀氏、石井氏、松川氏



左から長尾氏、橋谷田氏、土屋氏



講演する山内所長



総合討議の様子

『米どころ福島の旨いもの商談会』へ有機農業者が出展！

農業総合センター有機農業推進室

8月29日(金)に、東京都の「秋葉原コンベンションホール」において、『米どころ福島の旨いもの商談会』が開催されました。

出展者は26団体で、うち12団体が有機農業関係でした。約150名の農産物等を取り扱うバイヤーの皆様が来場し、それぞれのブースをまわり、出展者から説明を聞いていました。

有機栽培農家は、試食等を提供しながら、お米などの農産物や加工品を熱心に説明されており、商談成立に手応えを感じていた農家もいらっしゃいました。

また、9月11日(木)には、商談会に来場したバイヤーの方に福島県に来ていただき、産地を見学する『米どころ福島の産地を巡るバイヤーツアー』が開催され、郡山環境保全農業研究会会長の中村さん宅を訪問しました。

中村さんから有機栽培ほ場や作業場の説明をしていただき、「もっと有機栽培を知っていただくために、いつでも産地を見に来てほしい」と話をされていました。



『旨いもの商談会』場内の様子



『バイヤーツアー』で説明をしている中村さん